



日仏の労働(失業)・貧困と社会政策

保健福祉学部 人間福祉学科
教授 都留 民子(つる たみこ)

連絡先 県立広島大学 三原キャンパス 3503号室
Tel 0848-60-1252
E-mail turu@pu-hiroshima.ac.jp



専門分野： 社会政策 社会保障

キーワード： 貧困、失業、福祉国家、フランス、社会保障

● 研究について

日本の社会保障制度の改善のためには、1) 人々の生活の実態(意識も含む)と2)ヨーロッパ「福祉国家」(筆者の場合はフランスに特化)の歩み・理論・現実についての分析が不可欠と考えます。今後もこのスタンスで研究を進めていきたいと考えています。

○ これまでの研究

- 1) 日仏の失業者の質的調査にもとづく比較研究
- 2) 広島市の求職者、路上生活者、および福岡旧産炭地の住民などのオーラルヒストリーの収集とその分析(調査研究)
- 3) 日仏の社会保障制度の研究(雇用・住宅政策含む)

○ 現在の研究

- 1) フランスの失業・貧困対策におけるアクティベーション策、それを機軸とする「福祉国家」再編成の方向
- 2) 日本の社会政策における「労働偏重」への批判的研究

● 研究結果

著書

- ・『フランスの貧困と社会保障－RMI への途』(単著)法律文化社 2000年
- ・『欧米のホームレス問題(上)(下)』(共編著)法律文化社 2003年、2004年

- ・『国際比較の中の失業者－日本・フランス・ブラジル』(共著) 東大社会科学研究所 2006年
- ・Trabalho Flexível, Empregos Precários? (共著) éd EDUSP. São Paulo 2010年
- ・『失業しても幸せでいられる国・フランスが教えてくれること』(単著)日本機関出版センター 2010年
- ・『大量失業社会の労働と家族生活－筑豊・大牟田150人のオーラルヒストリー』(編著)大月書店 2012年

訳書

- ・D. ドマジエール『失業の社会学』法律文化社 2002年
- ・D. ドマジエール・M-T. ピニョニ『行動する失業者』法律文化社 2003年

● 地域・社会との連携

労働にかかわる地域の機関・非営利団体などとの協力のもとで、住民の生活・労働の現実(リアリティ)について調査研究を行いたい。現実に基づいた社会施策のパーспекティブを提示が可能です。地域の学習会などにおいて情報・知見の提供が可能です(2012年度は広島市男女共同参画推進センターなどにおいて講演)。